

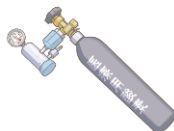
そなえあれば
うれいなし

西淀 防災 Times

Vol. 2 令和5年4月24日発行 担当：安東・溝上

『西淀防災 Times』Vol.2 では、5月1日（月）実施の火災避難訓練で、注意すべき点と避難のポイントをお伝えします。一度読んで確認し、学年等で話し合って災害に備えてください。

注意すべき点



○酸素ボンベを使用している児童生徒の避難について

酸素を利用している児童生徒については火災の際に特に配慮が必要です。厚労省より、「在宅酸素療法用酸素使用時は周囲 2m以内に火気を置かないこと」という指針が出ています。担当学年に酸素ボンベを使用している児童生徒が居ない場合も今後対応することが出てくるかもしれませんので、念頭に置いておいてください。



今年度の避難のポイント

①場所について（2階調理室）

●今回は2階調理室で出火と想定して実施します。出火の状況や場所によっては、スロープと階段のどちらで避難をするかの判断が必要です。※理科室の場合はスロープ降りた先にあるので階段での避難となります。

事前にスロープ付近に避難を妨げるものなどが無いかなどを確認するようにしてください。

※避難訓練では階段の位置を児童生徒と確認し、車いすの児童生徒はスロープで避難してください。

●今回は前年度のアンケートより、『防火扉を閉める』ことを追加しています。図書室とパソコン室の間の通路、音楽室と視聴覚室の間の階段の防火扉を閉めます。防火扉には遮炎性能があり、火災発生時における避難経路の確保のために、火の広がりを食い止める働きがあります。今年度初めての取り組みですが、初期消火班が外へ逃げる際に防火扉を閉めます。

●2階で出火した場合でも、その真下は床が落ちるなどの危険性があります。一番離れた経路を選びましょう。

※避難経路図は、4月5日の職員会議の資料に載せています。

●調理教室が北側にありますが、運動場やピロティに近い場所となっています。実際に火災が起きた場合、出火場所によっては小学部教室側の裏庭に避難することも想定されます。

※避難訓練では裏庭に虫が多いことから運動場かピロティでの避難となります。

②時間について

今年度も 9:30～10:30 の設定で行いますが、いつ訓練が始まるかわかりません。この時間帯は医療的ケアや、プロンボード立位中など様々な場合が想定されると思います。以下に対応の仕方をいくつか挙げます。

●医療的ケア実施中は慌てず、ケアを的確に中止し、速やかに避難してください。避難後、医療的ケアの状況（胃残確認の途中など）を看護師さんにお伝えください。※今回の火災訓練では医ケア終了後に避難してください。

●プロンボードや座位保持椅子は屋外での移動には適していない物があります。目の前に火が迫っているなどの危機的状況以外では車いすの乗り換えて、安全に避難しましょう。

●「誰と、どこに、何をしに行くのか」などの情報共有を日頃から教員間でしましょう。情報共有することは訓練以外の場面でも大切なことです。共有しておくこと、緊急時に放送が聞こえず逃げ遅れた場合でも助けに行くことができるようになります。

③移動について

実際の避難では座位保持椅子とバギーどちらがよいか、判断に困ると思います。座位保持椅子は室内で使用されるため、長距離移動や不整な道には適していない構造になっています。火災の場合は出火場所から離れることが大事なので敷地内程度の移動で済むこともあり、座位保持椅子に乗ったままでも避難できる時もありますが、大規模な火災や津波で長距離移動する場合や、避難経路の状況によっては、安全面を優先して移動できるバギーに乗り換えることが望ましいです。

※今年度の火災避難訓練も移動方法を指定しませんので、各学年で話し合って避難するようにしてください。